

横手市主催「【多面的機能支払交付金事業】組織の広域化に関する研修会」開催



席替えをする井戸端会議の様子

令和2年11月30日（月）横手市十文字コミュニティーセンターにて、横手市主催の「【多面的機能支払交付金事業】組織の広域化に関する研修会」が開催された。



秋田県農山村振興課講演



秋田県多面的支援協議会講演

本研修会では秋田県農山村振興課から「多面的機能支払交付金における課題」、秋田県多面的機能支援協議会から「広域化推進のすすめ～「今」、話し合おう～」という題目での講演の後にグループワーク「席替えをする井戸端会議～多面的機能支払い交付金事業について考える～」を2019人材マネジメント部会が主催となって実施された。



グループワークの様子

このグループワークは、「令和元年度実施多面的機能支払交付金事業に関するアンケート調査結果について」を元に話し合いがなされた。アンケートについては、**①どの組織も、構成員の減少や高齢化の影響を受けている、②事務作業の負担、③広域化に興味はあるが、他組織との調整に不安を感じている**という3点の傾向が見られた。このことを受けて、「地域の環境を守るために必要なことは？」というテーマで、話し合いがなされた。話し合いの過程は次のとおりである。

1. 「今のアンケート結果を聴いて、共感すること、違和感を感じることは何か」
2. 「こうしたアンケート結果が出る原因は何か」
3. 「現状を改善する為、取り組まなければならないことは何か」
4. 「現状を改善する為、自分たちの組織でできることは何か」

この話し合いを通して、共通認識としてあったのは**「少子高齢化」、「担い手不足」**という課題と、今後については**「女性役員の加入の必要性」、「若い人たちの交流が必要」、「地域の学校の行事と調整が必要」**などの意見が上げられていた。

今回のグループワークは、違う組織の人たちとの交流を主として、そこで出された意見を自分の組織に持ち帰って情報を共有するという形が取られ、非常に盛り上がりを見せていた。広域化推進は組織の交流から始まること。そして、それぞれの地域への思いを共有することが、これからの地域の農業農村を守ることに繋がっていくと感じた。

また、横手市では人材マネジメント部会が学んだ「席替えをする井戸端会議」という手法を取り入れて組織にとっても新しい刺激となることに繋がった。